

凡事徹底・活力・環境

五小だより

<http://5s.hyama.andteacher.jp>

令和 6年 6月 28日

No.4

東大和市立第五小学校

TEL (042)562-1981

FAX (042)590-7022

1学期の生活を振り返り

校長 平松 新太郎

夏休みまで約1か月となりました。全校朝会では「小さな目標と大きな目標」という話を何度かしてきました。短期目標と長期目標とでも言いましょうか。夏休みまでの1か月間はそれらを振り返る時期です。

さて、教室を見回すと、1学期の目標が掲示されているクラスがあります。ある教室では「早寝早起きをする」あるいは、「規則正しい生活をする」などの目標がありました。子供たちに聞くと、「塾や習い事で寝るのが遅くなってしまおう」「ゲームをしたり動画を見たりしていると夜中になってしまおう」とのことでした。分かってはいるけれど、生活リズムが乱れてしまおう。大人も気を付けなければいけないことだと思います。

別の教室では「勉強を頑張る」もう少し具体的に、「漢字テストで毎回100点をとる」「毎日宿題をやる」「わり算を頑張る」などと書いてありました。家庭学習強化週間をうまく活用し、予定通りの学習ができたでしょうか。学習習慣を身に付けること、また、身に付けた学習習慣をさらに深めることは、中学生や高校生でも難しい場合があります。今のうちから少しずつでも積み重ねていければと思います。

高学年では「一年生のお手本になる。」「下の学年のお世話をする。」などが多く見られました。また、「誰とでも同じように接する。」「クラスをよりよくするために皆で努力する。」など、他者との関わりを意識した内容も多く見られました。

1か月はあっという間に過ぎてしまいましたが、どう意識するか、どう行動するかでその充実具合は変わってきます。

全校朝会では、「残り1か月、1学期のめあてが達成できていないと思う人はこれまで以上に意識して、達成できたと思う人は更なる高みを目指して過ごそう。」と話をしました。これは、子供たちだけでなく、大人にも当てはまります。

子供も大人も、互いの頑張りを、認めたり伝え合ったりして、皆で目標を「達成できた」と言って、夏休みを迎えたいと思います。